

短期大学部アクション・プラン 基本計画
(2017) の実施確認

Y	P	D	C	A
未着手	計画	実行	評価	改善

H29年度 ○

2. 教育の充実と研究活動

<教育>

- (1) 現存の3つのポリシーについて点検・評価する（アドミSSION・ポリシーについては再構築する）。

Y	P	D	C	A
			○	○

- (2) 近未来に入学してくる学生に相応しいアクティブ・ラーニングの在り方を検討する。

Y	P	D	C	A
			○	○

- (3) カリキュラム・マップによって学修成果を検証する。

- (4) 生活文化専攻オフィス総合コースへ新規資格取得と新規検定受験支援のため新規科目を導入する。

Y	P	D	C	A
			○	○

- (5) 基礎教育科目に正課外活動を中心とした新規科目を検討し、充実をはかる。

Y	P	D	C	A
		○		

- (6) 学生にとって活用度の高いシラバスの在り方を追求する。

Y	P	D	C	A
				○

<研究>

- (1) 研究不正防止の意識を研修によって高める。

- (2) 公開講座をはじめ各種教育活動を各実行責任者は紀要等に投稿できる形式の報告書としてまとめる。

(3) 瀬木学園紀要の投稿に努める。

3. 学生支援

(1) 愛知県中小企業同友会のご協力の下、ボランティア活動等正課外の活動を積極的に支援する。

Y	P	D	C	A
			○	○

(2) 資格を放棄した学生支援の在り方を検討する。

Y	P	D	C	A
			○	○

(3) 学生会の充実を支援する。

Y	P	D	C	A
		○		

(4) 入学時（入学の動機等）と卒業時（満足度等）にアンケートを実施し、学生支援にフィードバックする。

Y	P	D	C	A
	○	○	○	○

◎

(5) 就職活動支援の維持・向上に努める。

Y	P	D	C	A
	○	○	○	○

◎

4. 教育環境の整備

(1) 学園の教育環境整備計画に従う。

(2) 平成26年度私立学校施設整備費補助金（私立学校教育研究装置等施設整備費）（私立大学・大学院教育研究装置施設整備費））及び私立大学等研究設備整備費等補助金（私立大学等研究設備等整備費）に係る事業に採択され、2号館201教室と101教室にアクティブ・ラーニング環境整備を行った。

(3) 平成27年度「私立大学等改革総合支援事業」（タイプ1）の採択に伴い、私立大学等教育研究活性化設備整備費が採択され、1号館5階体育室にアクティブ・ラーニング環境整備を行った。

Y	P	D	C	A
	○	○	○	○

5. 社会貢献

- (1) 平成27年度から実施している瑞穂区高齢者対象のテーマ『健康長寿』の「みずほヘルスセミナーカフェ」（2年目）を実施し、その総括した結果を平成29年度にフィードバックする。

Y	P	D	C	A
	○	○	○	○

◎

- (2) 産学官連携の健康づくりに積極的に取り組む。

- (3) 恒例の食品加工講座や子ども広場等各専攻単位の特徴を活かした社会貢献を継続的に実施する。

Y	P	D	C	A
	○	○	○	○

◎

6. 入試対策

- (1) アドミッション・ポリシーを3学力による評価の視点から見直す。

Y	P	D	C	A
	○	○	○	○

◎

- (2) アドミッション・ポリシーとの整合性を配慮し、入試選抜方法の見直しを図る。

- (3) 多面的・総合的な評価による入学者選抜方法を支える体制としてアドミッション・オフィスのあるべき姿を検討し、必要と認められた場合には設置を検討する。

Y	P	D	C	A
○				

- (4) 学園の健全な存続を目指し、収容定員の充足に努める。

Y	P	D	C	A
	○	○	○	○

- (5) 志願して入学に至らなかった学生を対象にアンケートを実施し、結果を分析し改善に努める。

Y	P	D	C	A
	○	○	○	○

7. 基本計画を支える財政

- (1) 収容定員の充足を目指す。

- (2) 私立大学等改革支援事業に積極的に取り組み、補助金獲得に努める。

(3) 管理費の効率を見極め、また大学と連携できるところは連携し、抑制に努める。

8. 爽やかな職場環境

(1) 他の組織（大学・短大・高校）との意見交換により、入試形態を定める。

(2) 瑞穂高等学校との指定校推薦その他について、また入学後の学生の学習成果等について情報共有に努める。

(3) 教職員は日頃の親睦により、委員会でも率直な意見交換に努める。

9. 基本計画の進行度の確認

(1) 1～8に関する企画責任者は学長に、企画実施前後速やかに学長へ報告する。

(2) 1～8の総括を、各年度末には学長が理事長へ文書および資料を添えて報告する。